

一生勉強、一生青春
働く喜び、望ましい社会人としての在り方とは

公益社団法人 経済同友会
会員 林 明夫

1. はじめに

(1) 自己紹介

小林恵智さんの代理 小林さんは今どこで何をしているのか
私の活動領域

(2) 現在はどのような時か

TVだけではなく、新聞をよく読んで自分の力で考えよう
被災地の危機だけではない。日本の危機、日本国民の危機かもしれない

2. 働くとは何か 何のために働くのか考えよう

(1) 生活できるだけの収入を得るため

(2) 人様のお役に立つため、お客様のお役に立つため 社会のお役に立つため

(3) 自己実現のため 生きがい、生きる喜び

* ただし、仕事をして(1)~(3)実現するには
顧客の問題を解決すること、解決できること
競争相手に負けないこと
しくみをつくり、継続すること

現代社会と求められる能力

- ・ 知識基盤社会 知識・情報・技術を用いる能力
- ・ グローバル化社会 多様な集団で交流する能力
仲良くやることも能力の一つ
- ・ 少子超高齢化社会 自律的に活動する能力

3. 現実は厳しい

(1) 企業は原則倒産。

(2) 公共サービス部門も原則...

(3) 国家も原則...

* そうならないためにはどうしたらよいか、歴史をしっかりと学ぶこと。
2011年3月11日の東北・関東大震災は日本の歴史に残ること。
ここから何が学べるか、これから何ができるかを考えることも大事。

4. 雇われる能力(employability エンプロイアビリティ)

(1) 経営幹部としての雇われる能力

(2) 中堅社員としての雇われる能力

(3) 一般社員としての雇われる能力

「規律ある人材」が「規律ある考え」に基づき「規律ある行動」をする。

* 規律とは「高い志」をもち自分の意思で自分の行動をコントロールできること(自律的に活動する能力)。

5. 今やっている高校での勉強や活動は役に立つのか

(1) すべて役に立つ

大学や短期大学、専門学校など高等教育機関に進学した後すべて役立つ。

高等教育機関の教育や研究は、高校できちんと「教科の内容」と「勉強の仕方」、「一人での生活の仕方」など高校生としての勉強をしていることを前提に行われているため企業や役所などで働くときも、高校での勉強や活動はすべて役立つ。

就職した後学ぶことは山ほどあり、それらは高校での勉強や活動を前提としているため大学などでも、職場でも、また、20歳以上死ぬまでの生活は、小学校、中学校、高校、特に高校の勉強がすべての基本となっている。学校の勉強や生活はすべて役立つ。

(2) 例えば、私の場合は.....

スポーツをやっていたので体が鍛えられ今まであまり大きな病気もせずに生きている。

生徒会活動をやっていたので会社をはじめ様々な組織で活動できる。

勉強も多少したのでたえず新しいことを学ぶことができる。

6. 高校時代に取り組むべきこと、学んでおくべきこと

(1) 目標を明確に持つこと

何のために進学するのか

進学して何を学ぶのか

卒業後何をするのか

どのような「仕事」や「社会活動」、「生き方」をしたいのか 人生は長い

* どのように自分の人生をよく生きるのか

ご参考

内村鑑三著「後世への最大遺物」(岩波文庫)より、人は死んだ後、後の世に何が遺(のこ)せるか。 お金、 事業(仕事)、 著作(作品)、 教育(教え子)、 生き方

* 内村鑑三著「代表的日本人」(岩波文庫)も参考になる。

(2) 全教科の勉強をしっかりとる

全教科とも高校でしか学べない。

「理解」「定着」「応用」と「学び方」も身につける。

* わからない語句は「辞書」を必ず引き、ノートに意味を書き、ていねいに覚えていく。

文系の人には理系の科目を、理系の人には文系の科目をていねいに勉強する。

特に、英語と古典(古文と漢文)、歴史と地理、倫理社会はしっかりと勉強を。数学や生物、化学、物理、地学の勉強も高校でしかできない。

美術、音楽、家庭科、保健は家庭生活や人生を豊かに送る上で欠かせない。

高校の教科書、資料集、ノートは絶対に手離さない。すべて保存し、時々読み返す。

(3) 部活動、生徒会活動、学校行事、当番も役に立つ

一番役に立つのはトイレ掃除

5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)が仕事の上で大切

身体と精神を鍛える(スポーツや芸術活動その他、研究活動)

とりあえず

カバンの中、机の上、机の中、本棚、自分たちで使っている部屋、トイレ、廊下、玄関、台所、家の外の整理・整頓・清掃で5Sの練習を

(4) 読書により思慮深さを身につける

本はよく選んで読む(何を読むかが大事)

本はゆっくりていねいに何回も読む

気に入った文章は書き抜く(「書き抜き読書ノート」を)

(5) 新聞を毎日、1時間以上読む

「自分で考える力」を身につける

「批判的思考能力」(Critical Thinking クリティカル・シンキング)を身につける

興味のある記事は切り抜き、「スクラップ・ブック」を作る

(6) 「学び方」を学ぶ(Learning To Learn ラーニング・トゥ・ラーン)能力を身につける

予習の仕方(予習はよくわからないことをはっきりさせて授業に臨むためにするもの)

辞書の引き方、わからないところの調べ方

授業の受け方

「理解」したことを「身につける方法」

(ア)音読練習 (イ)書き取り練習 (ウ)計算・問題練習

試験の受け方、合格点の取り方 - 社会に出てもたくさん試験を受けなくてはならない

- 同じ問題を繰り返し解き続ける -

* 図書館の利用の仕方を身につけよう。学校の様々な施設や社会教育施設の利用の仕方も。

(7) 躰(しつけ)を身につける

美しい立居振舞い(たちいふるまい)

* 「服装第一」

敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)

* 「です、ます調」で話せること

(8) ボランティア活動や社会科見学もどんどんしよう

「家族のよさ」「友達のよさ」「学校のよさ」「地域のよさ」「墨田区のよさ」「東京のよさ」

「関東のよさ」「日本のよさ」「アジアのよさ」「地球のよさ」そして「自分のよさ」を捜

そう。「よいところ」はきちんと認めよう。きちんと認めてどんどん伸ばそう。

(9) 文を書く訓練を 筆記体やきれいな文字を書く練習も

7. おわりに - 私の好きな言葉 -

(1) ブルドッグ魂(食いついたら離すな)

(2) 練習で泣いて試合で笑え

(3) 一所懸命

(1つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組もう)

(4) 初心忘るべからず

(5) 離見の見(りけんのけん)

(6) 練習は不可能を可能にする

(7) 教育ある人とは(一生)勉強し続ける人

(8) いつまでも若々しく生きる

(9) あきらめたらおしまい

(10) 一生勉強、一生青春

(11) 目には遠いが心は近い

(12) 健康第一(心の健康、身体の健康)

* よいことをして忘れること

感謝

御清聴を感謝申し上げます。

* 御質問、御批判があればお聴かせ下さい。